

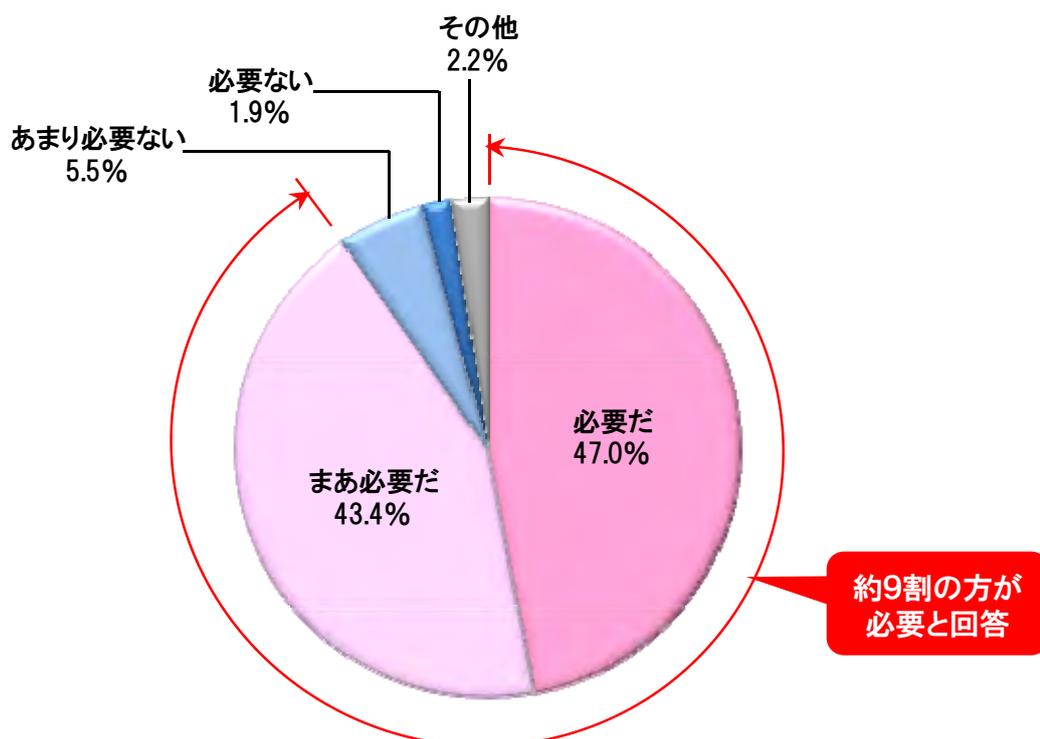
アンケート結果について

平成23年2月から8月に国道357号千葉地区の交通円滑化対策についてのアンケートを行いました。結果及びご意見が多かった内容を紹介します。

アンケート 回答数:5177件 期間:平成23年2月22日～2月24日(webアンケート)
期間:平成23年2月～8月 (事務所ホームページ)

約9割の方が「交通の円滑化対策は必要」と回答しています。

問. 国道357号の交通の円滑化の取り組みについてどのように思われますか。



アンケートご協力いただき、ありがとうございました。

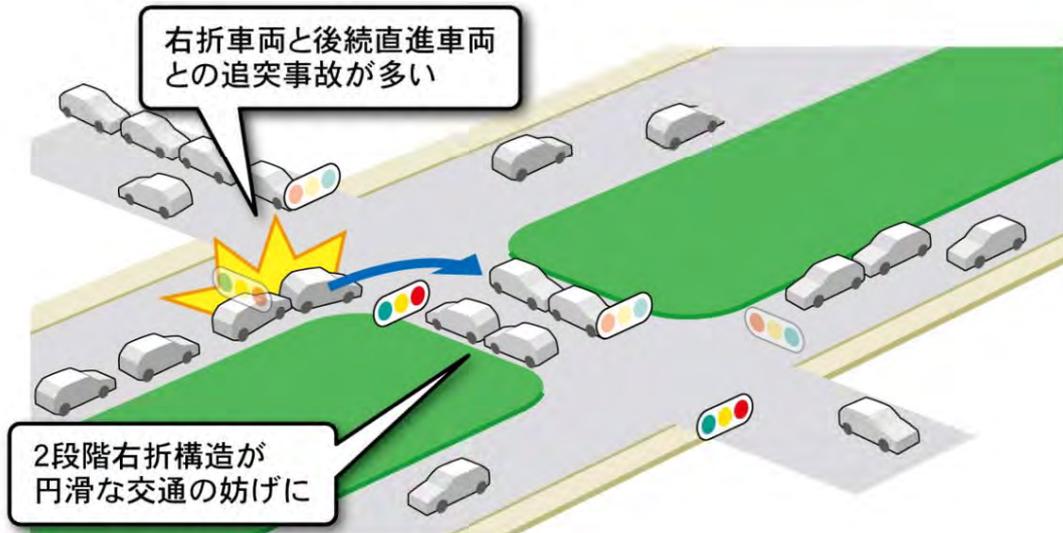
●次のページから国道357号の交通円滑化対策について頂いたご意見の内、多かった内容について紹介します。

交通安全対策について

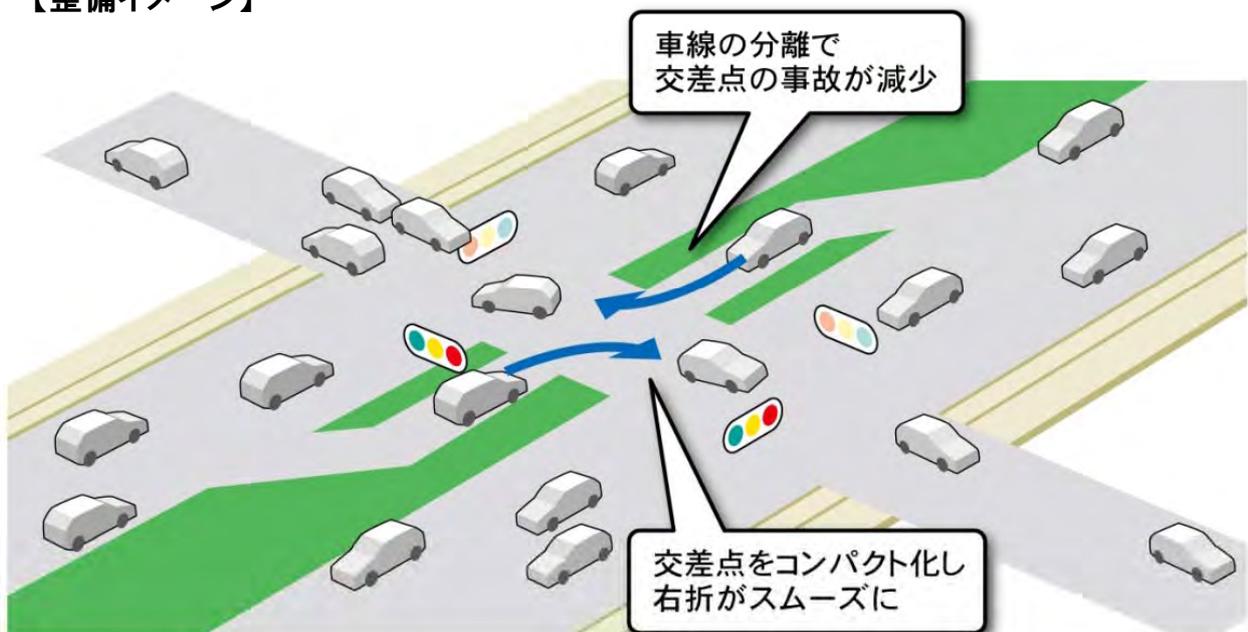
Q. 交差点の事故が多いので危ない。複雑な交差点の形をなんとかして欲しい。

A. 現在の2段階右折は右折のためスピードを落とした車に後続車両が追突する事故が多い。
交差点をコンパクト化することにより、右折がスムーズになり安全な交差点になります。

【現在】



【整備イメージ】



歩道・自転車レーンの整備について

Q. 歩行者や自転車が安心して利用できる道路になってほしい。

A. 歩行者と自転車に関する事故が増えていることから、千葉県・千葉市・県警と連携して整備を推進していきます。

【周辺道路の現在の整備状況】

- 自転車歩行者道に、カラー舗装を使用し歩行者と自転車の錯綜を防止



国道14号幕張地区

- 車道に自転車道を設置し、歩行者と自転車の錯綜を防止



市道高洲中央港線(京葉線通り)

- 歩行者道と自転車道の上に植樹帯を設置し、歩行者と自転車の錯綜を防止



国道14号幕張地区

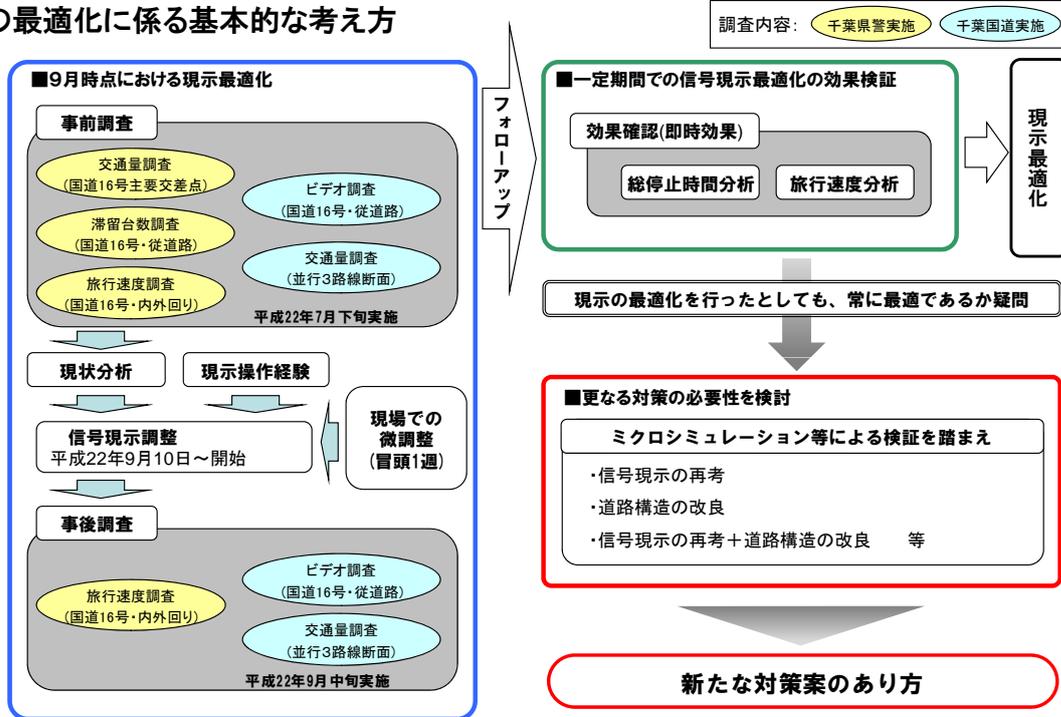
信号サイクルの見直しについて

Q. 信号のタイミング調整をしてほしい。右折時の信号を強化してほしい。

A. 千葉県警と連携し、信号現示の最適化を目指します。

信号サイクルの見直し(国道16号柏地区で行った信号の最適化の例)

●信号現示の最適化に係る基本的な考え方



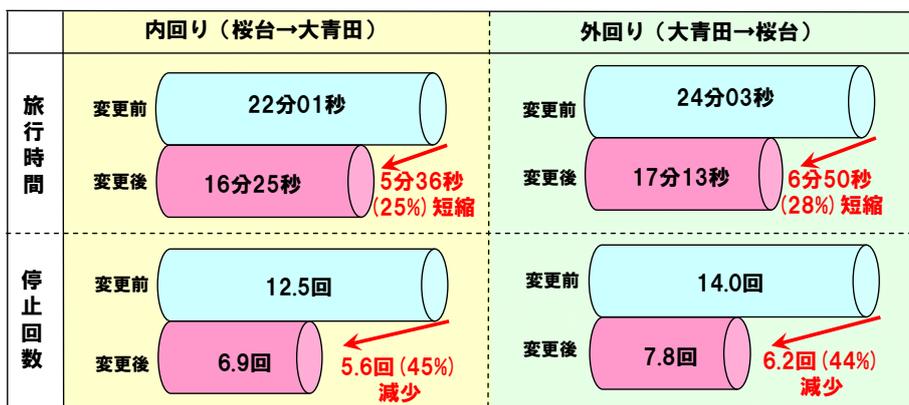
●信号現示の最適化実験結果

<信号現示変更結果>

内回り、外回りとも、旅行時間が短縮され、停止回数も減少した。

信号が青になるタイミング調整により、先詰まりが解消され、青信号になった際のスムーズな発進が可能となった。

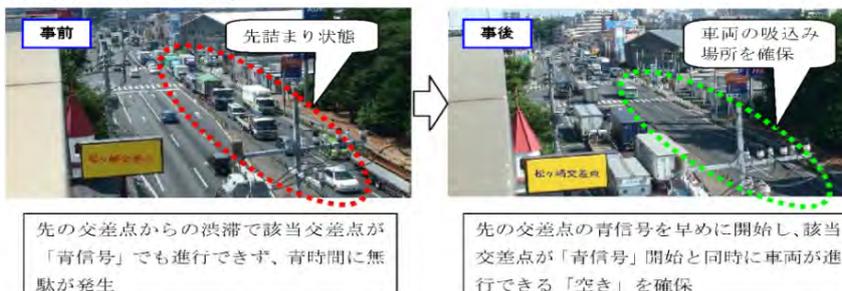
●現示変更前後の旅行時間観測結果



事前:H22/7/21の平均値
事後:H22/9/10、9/29の平均値

●現示変更前後の状況例

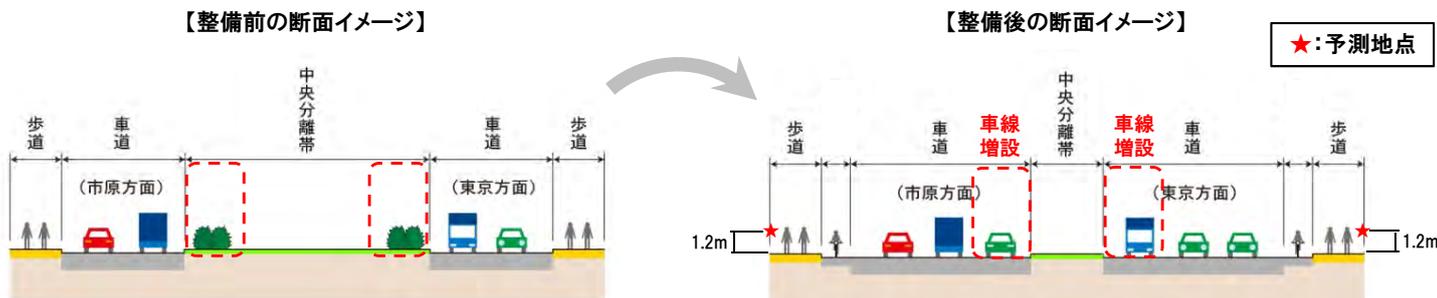
【信号機見直し前後の状況例】



環境対策について

Q. 排ガス、騒音等の環境対策をしてほしい。

A. 交通の円滑化により、沿道環境(騒音、振動、大気質)の改善が期待できます。

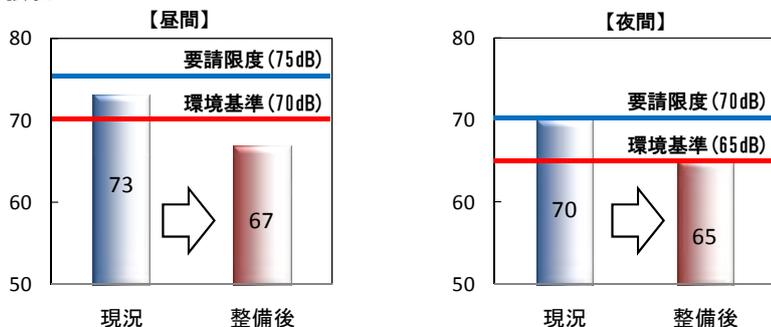


※ 環境基準：環境基本法により定められた生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準
 要請限度：騒音規制法、振動規制法により定められた許容限度

騒音・振動

- 交通円滑化の整備により、車道と沿道住居の距離が現況より離れるため騒音が低減される。
- 交通円滑化の整備にあわせ、傷んだ舗装を低騒音舗装に直します。

◆騒音



※現況とは、H21.12千葉市環境局環境保全部環境規制課

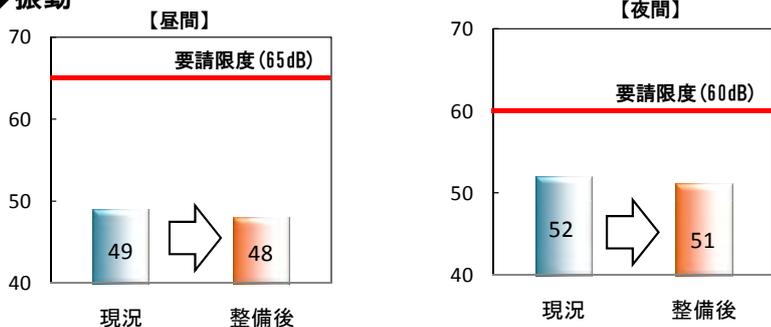
騒音のめやす

騒音 (dB)	めやす
100	電車通行時のガード下、地下鉄電車内。
80	電話が聞こえないレベル
70	騒がしい街頭、電話のベル音
60	静かな街頭、普通の会話の音声
50	静かな事務所
40	図書館、昼間の静かな住宅地

整備前 (Noisy) vs 整備後 (Quiet)

- 交通円滑化の整備により、車道と沿道住居の距離が現況より離れるため振動が低減される。

◆振動



高機能舗装(低騒音舗装)

タイヤ騒音発生の抑制

通常舗装 vs 高機能舗装

タイヤ溝と舗装面に挟まれるため、空気の逃げ道がなく、空気の圧縮音、膨張音が発生する。

舗装の隙間に空気が逃げるため、音が生じにくい。

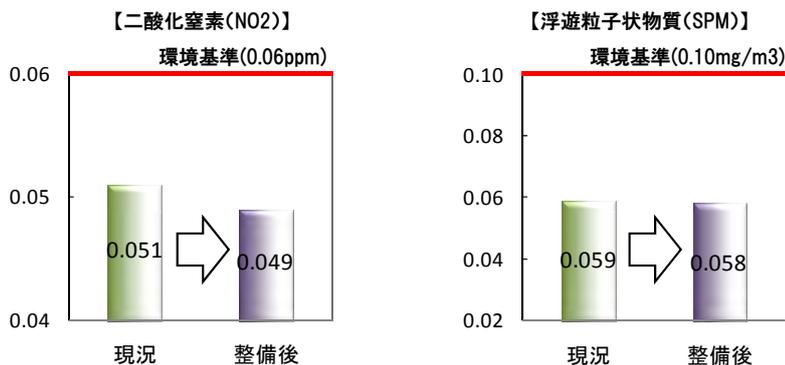
自動車騒音の路面反射の軽減

音が一部吸収され、反射音を軽減できる

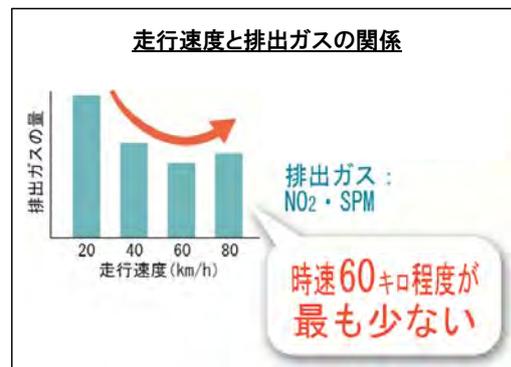
通常舗装 vs 高機能舗装

大気質

走行速度が改善されることにより自動車から排出される二酸化窒素(NO2)※2、浮遊粒子状物質(SPM)※1の低減が期待されます。



※現況とは、平成21年度千葉市役所自動車排出ガス測定局



※1)2%除外値:年間の1日平均値の高い方から2%除外した1日平均値
 ※2)98%値:年間の1日平均値の低い方から98%に相当する1日平均値

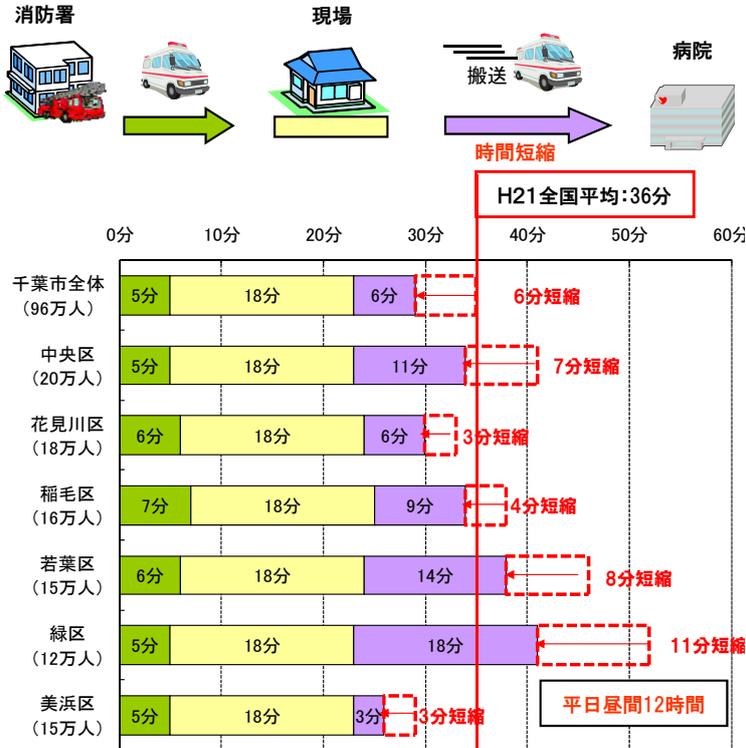
整備効果について

Q. 整備前と整備後で、どのような効果があるのか知りたい。

A. 交通の円滑化対策により救急医療サービス水準の向上、地先交通の円滑化が期待できます。

国道357号道路整備(交通の円滑化・新港横戸町線)の整備により、これまで渋滞箇所を回避して迂回していたケースが経路を変更することで、搬送距離や所要時間の短縮が図られ、救急医療サービス水準が向上。

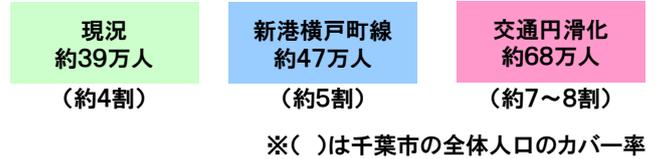
●第3次救急医療機関への短縮効果



【対策実施による救急医療センターへの36分圏域の拡大】



■全国平均(36分)の搬送時間における人口割合



国道357号交通の円滑化対策区間周辺における地先交通の円滑化が期待できます。

交通の円滑化対策区間周辺は、商業施設や物流施設が集積し、大型車の交通量が多いことから、周辺の生活道路に、国道357号の渋滞を避ける抜け道となっており交通混雑が発生しています。

国道357号交通の円滑化の整備により、より走行性の高い国道357号に交通が転換し、地先交通の円滑化が期待されます。



当社では、中央卸売市場で仕入れた青果物を配送していますが、朝ピーク時は国道357号の混雑を避けて、海側の市道を利用するようにしています。
 (運送関連企業ヒアリング結果)

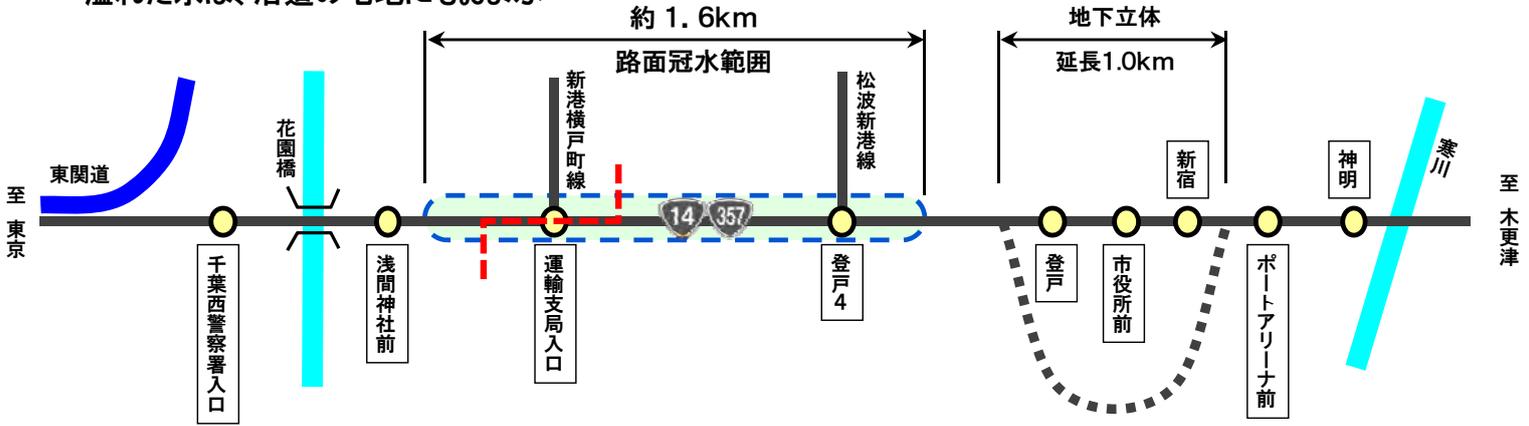
雨水対策について

Q. 大雨の際に冠水があった。こうした対策にも配慮してほしい。

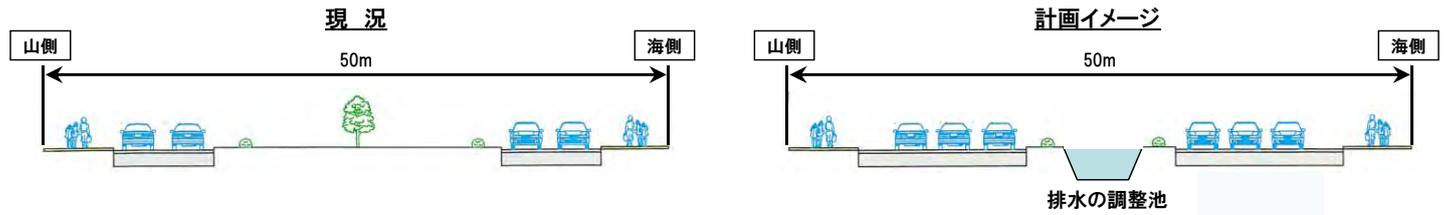
A. 中央分離帯を有効活用し、調整池を作ることで雨水対策の改善が期待できます。

<冠水状況について>

平成22年9月8日(水)に国道357号の黒砂・登戸付近において、豪雨時に道路が冠水する事象が発生
 溢れた水は、沿道の宅地にもおよぶ



【調整池断面イメージ図】



【登戸4丁目調整池整備状況】

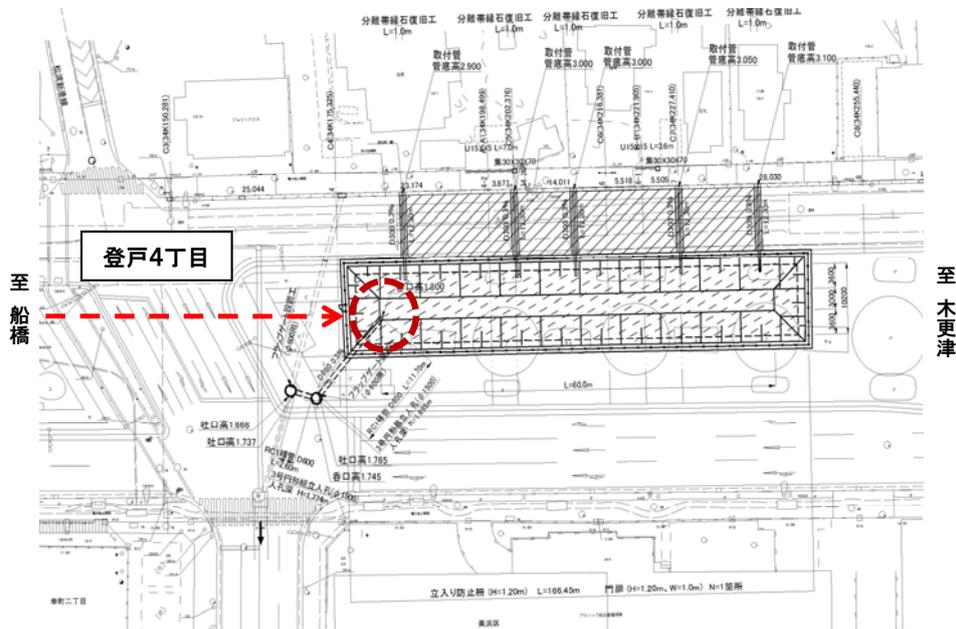
対策前



対策後



調整池平面図



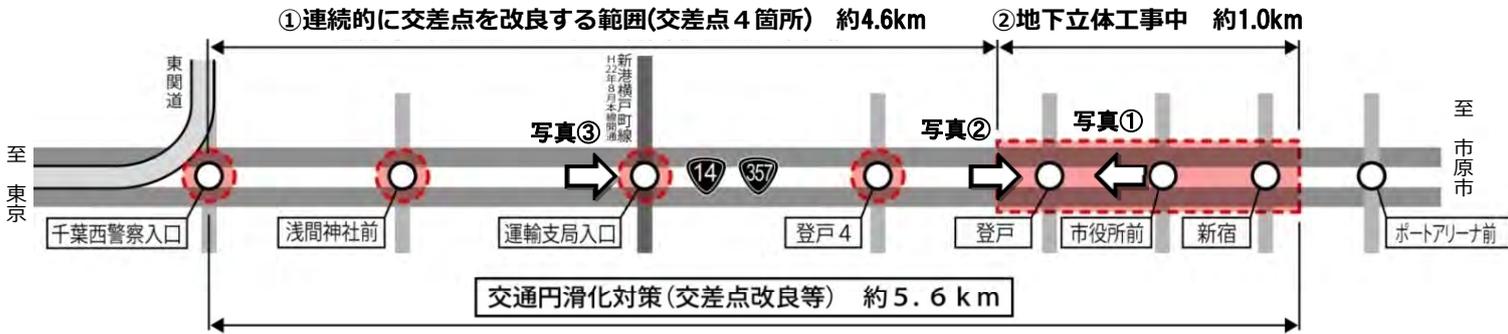
交通円滑化対策の進め方

(参考)

国道357号の千葉西警察入口から市役所前に至る約5.6kmについて、渋滞対策と交通安全対策を一体で実施します。

特に千葉市役所周辺においては、3つの交差点が近接し、渋滞が著しいことから個々の交差点の改良ではなく、約1.0kmの道路の地下化(地下立体)を進めています。

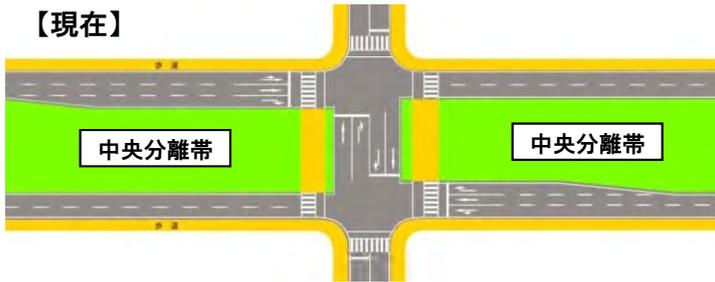
残る約4.6km(4交差点)については、右左折レーンの設置や直進車線の増設等の交差点改良を進めています。



①交差点の改良

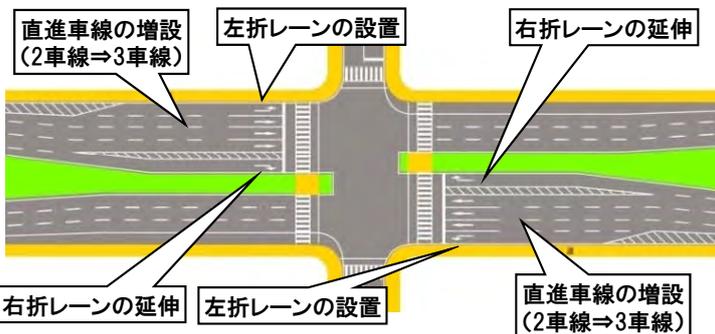
現在の中央分離帯(緑地)のスペースを有効活用し、渋滞・交通安全対策を進めていきます。

【現在】



写真③ 稲丘歩道橋から市原方面を望む

【整備イメージ】



②地下立体工事

工事の進捗に合わせ走行車線の切り替えを行いながら、地下立体の工事を進めています。



写真① 市役所前歩道橋から市原方面を望む



写真② 登戸交差点の東京側から市原方面を望む

【整備イメージ】

